資料1

保健所でのＨＩＶ検査スケジュール（拡充分）

保健所でのＨＩＶ検査を、通常時よりも拡充（検査日の追加）します。
ぜひこの機会に受検をお願いします

検査・相談機関名	問合先電話番号	検査実施日・時間	検査の種類	HIV	梅毒	クラミジア	休日	予約
北部保健所	0980-52-5219	［12/1（火）］ 13:30～16:30	即日検査	○	○	○	×	必要
中部保健所	098-938-9701	［12/1（火）］ 9:00～10:30 ［12/3（木）］ 9:00～10:30	即日検査	○	○	○	×	必要
南部保健所	098-851-3555	［12/1（火）］ 9:00～10:30	即日検査	○	○	○	×	必要
宮古保健所	0980-73-5074	［11/24(火)～11/25(水）］ 9:00～11:00、13:30～15:30 ［11/26(木）］ 9:00～11:00	即日検査	○	○	○	×	必要
八重山保健所	0980-82-4891	［11/28（土）］13:30～16:00 ［11/29（日）］13:30～16:00 ［11/30（月）］13:00～15:30 ［12/01（火）］ 9:00～11:30	即日検査	○	○	○	○	必要
那覇市保健所	098-853-7972	［12/2（水）～12/4（金）］13:00～15:00	即日検査	○	○	×	×	必要

保健所でのＨＩＶ検査スケジュール（通常時）

検査・相談機関名	問合先電話番号	検査実施曜日・時間	検査の種類	HIV	梅毒	クラミジア	淋菌	予約
北部保健所	0980-52-5219	第２・４火曜日　9:00～10:00 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査	○	○	○	×	必要
中部保健所	098-938-9701	毎週火曜日　9:00～10:30 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査	○	○	○	×	必要
南部保健所	098-851-3555	毎月、第1・3週の木曜日　9:00～10:30 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査	○	○	○	×	必要
宮古保健所	0980-73-5074	毎週火曜日、木曜日　9:00～11:00、13:30～15:30 予約可能日については直接お問い合わせください	即日検査	○	○	○	×	必要
八重山保健所	0980-82-4891	毎週火曜日、木曜日　9:00～10:00または13:00～14:00 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査	○	○	○	×	必要
那覇市保健所	098-853-7972	那覇市ホームページをご確認ください https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/1006351/1006355.html	即日検査 通常検査	○ ○	○ ○	× ○	× ○	必要

「即日検査」とは、問診・採血を実施してから、1～2時間後に検査結果をお知らせする検査です。

「通常検査」とは、検査日から１～２週間後に検査結果をお知らせする検査です。

資料２

ＨＩＶ検査が受けられる医療機関

現在、沖縄県内では検査に協力していただける１１ヵ所の医療機関にて、有料ではありますが、ＨＩＶ検査の受検ができます。

【中部地区】

１．中部徳洲会病院
　　電話：098-923-1092　住所：中頭郡北中城村字比嘉801番地
２．名嘉病院
　　電話：098-956-1161　住所：嘉手納町字嘉手納258
３．ファミリークリニックきたなかぐすく
　　電話：098-935-5517　住所：北中城村字喜舎場360-1
４．ちばなクリニック
　　電話：0570-09-1301　住所：沖縄市知花6-25-15

【南部地区】

１．アドベンチストメディカルセンター
　　電話：098-946-2833　住所：中頭郡西原町字幸地868番地
２．なしろハルンクリニック
　　電話：098-877-7777　住所：浦添市屋富祖3-34-2 メディカルプラザたろう3階
３．名嘉村クリニック
　　電話：098-870-6600　住所：浦添市伊祖3-8-15

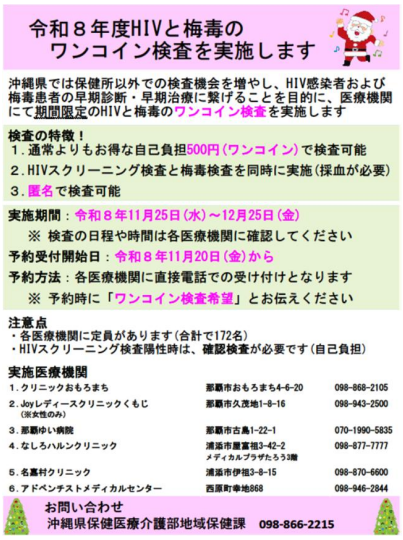
【那覇市】

１．クリニックおもろまち
　　電話：098-868-2105　住所：那覇市おもろまち4丁目6-20
２．JOYレディースクリニックくもじ
　　電話：098-943-2500　住所：那覇市久茂地1-8-16
３．那覇ゆい病院
　　電話：070-1990-5835　住所：那覇市古島1-22-1
４．那覇NICE救急クリニック
　　電話：098-963-5601　住所：沖縄県那覇市泉崎1-9-19 Graviton3階

「ワンコイン検査」の実施について

保健所以外での検査機会を増やし、ＨＩＶ感染者及び梅毒患者の早期診断・早期治療に繋げるための期間限定キャンペーン。

「世界エイズデー」（12月１日）等のイベントに合わせて実施し、安価で匿名によるＨＩＶ及び梅毒検査が受検できる取組。


令和８年度HIVと梅毒の
ワンコイン検査を実施します

沖縄県では保健所以外での検査機会を増やし、HIV感染者および梅毒患者の早期診断・早期治療に繋げることを目的に、医療機関にて期間限定のHIVと梅毒のワンコイン検査を実施します

検査の特徴！
1．通常よりもお得な自己負担500円（ワンコイン）で検査可能
2．HIVスクリーニング検査と梅毒検査を同時に実施（採血が必要）
3．匿名で検査可能

実施期間：令和８年11月25日（水）～12月25日（金）
※ 検査の日程や時間は各医療機関に確認してください
予約受付開始日：令和８年11月20日（金）から
予約方法：各医療機関に直接電話での受け付けとなります
※ 予約時に「ワンコイン検査希望」とお伝えください

注意点
・各医療機関に定員があります（合計で172名）
・HIVスクリーニング検査陽性時は、確認検査が必要です（自己負担）

実施医療機関

1．クリニックおもろまち	那覇市おもろまち4-6-20	098-868-2105
2．Joyレディースクリニックくもじ（※女性のみ）	那覇市久茂地1-8-16	098-943-2500
3．那覇ゆい病院	那覇市古島1-22-1	070-1990-5835
4．なしろハルンクリニック	浦添市屋富祖3-42-2 メディカルプラザたろう3階	098-877-7777
5．名嘉村クリニック	浦添市伊祖3-8-15	098-870-6600
6．アドベンチストメディカルセンター	西原町幸地868	098-946-2844

お問い合わせ
沖縄県保健医療介護部地域保健課　098-866-2215

2026年度（令和8年度）周知用のリーフレット

ワンコイン検査の流れ



・HIV スクリーニング検査と梅毒検査を同時に実施（採血が必要です）

・本来であればHIV及び梅毒検査は7,000円～の費用のところワンコイン（500円）で受検可能。

・匿名で検査可能

ワンコイン検査の対象者等について

（１）検査対象
沖縄県に居住している者（軍人・軍属の者を除く）、合計で 172 名になります。

（２）予約受付開始日
令和８年11月20日（金）から（定員に達し次第、終了となります）

（３）検査期間
令和８年11月25日（水）から令和８年12月25日（金）までになります。
検査の日程や時間は各医療機関に確認して下さい。

（４）予約方法
各医療機関に**直接電話での受付**となります。予約の際に**「ワンコイン検査希望」**とお伝え下さい。

（５）医療機関

①クリニックおもろまち　那覇市おもろまち4-6-20
　電話：098-868-2105

②JOYレディースクリニックくもじ　那覇市久茂地1-8-16
　電話：098-943-2500
　※検査は女性のみ可

③那覇ゆい病院　那覇市古島1-22-1
　電話： 070-1990-5835

④なしろハルンクリニック　浦添市屋富祖3-34-2 メディカルプラザたろう3階
　電話：098-877-7777

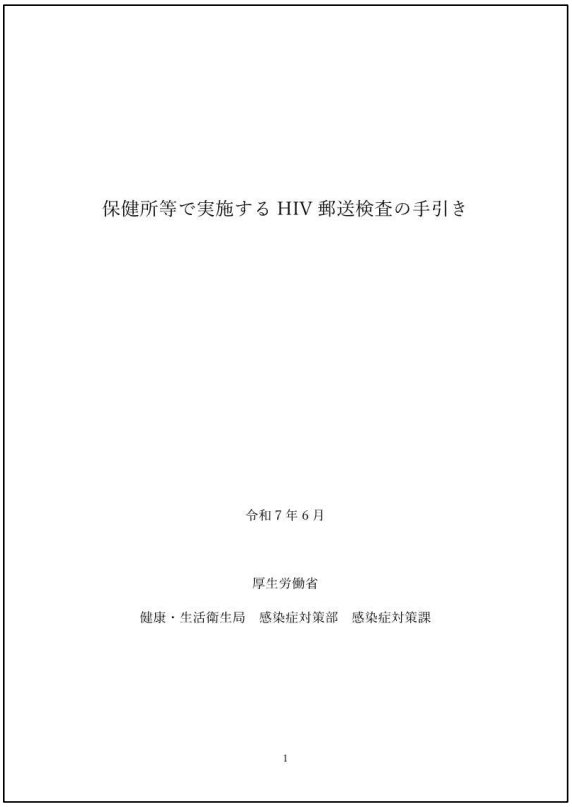
⑤名嘉村クリニック　浦添市伊祖3-8-15
　電話：098-870-6600

⑥アドベンチストメディカルセンター　西原町字幸地868番地
　電話：098-946-2844

（６）注意点
　各医療機関に定員がありますので、予約時に確認して下さい。

資料４

「HIV及び梅毒郵送検査」の実施について


保健所等で実施する HIV 郵送検査の手引き

令和７年６月

厚生労働省

健康・生活衛生局　感染症対策部　感染症対策課

1

（令和７年６月17日　厚生労働省通知より）

○ 検査機会の拡充は全国的な課題である中、民間検査会社等で実施されてきたHIV郵送検査は、受検時間に制限がないという利便があるとして、その活用に期待がされてきました。令和７年６月17日に厚生労働省より「保健所等で実施するHIV郵送検査の手引き」が示されました。また、全国的に感染拡大中の梅毒もその対象となりました。

○ 郵送検査のメリット

１．受付期間内であれば受検時間に制限が無い

２．対面での検査を避けられる

→離島の多い本県においては、地元の保健所検査は受検しにくいという課題の解消にも期待がされます。

○ 令和７年度はHIV及び梅毒の郵送検査を１００件分実施しました。令和８年度は４００件に拡充し、HIV検査普及週間に合わせて受付開始します。

「HIV及び梅毒郵送検査」の利用の流れ



県委託
検査会社



県民
（那覇市居住者を除く）

① 検査申込は専用WEBサイトから

② ご自宅等に届いた検査キットにより採血し、返送

③ 検査実施後、WEBサイトにおいて結果確認
（ID、パスワードはご自身で設定）

④ 検査後もコールセンター等により相談対応

⑤ HIVについては
陽性等となった方の情報を保健所へ共有



保健所

⑥ 保健所検査等を案内

「HIV及び梅毒郵送検査」の対象者等

○ 対　象　者：沖縄県民（那覇市居住者を除く）

○ 検　査　数：４００件（数に達し次第、終了）

○ 申込方法：専用WEBサイトより（URLは以下参照）

○ 受付時期：令和８年６月１日から翌年２月中旬ごろ

○ 検査費用：５５０円（検査キット送付及び返送代のみ受検者負担）

○ 匿名受検：匿名可。ただし、申請時に検査会社等からの連絡用として
メールアドレス、電話番号の登録が必要

沖縄県郵送検査キット申込みページ
https://www.std-lab.jp/e/47AA02

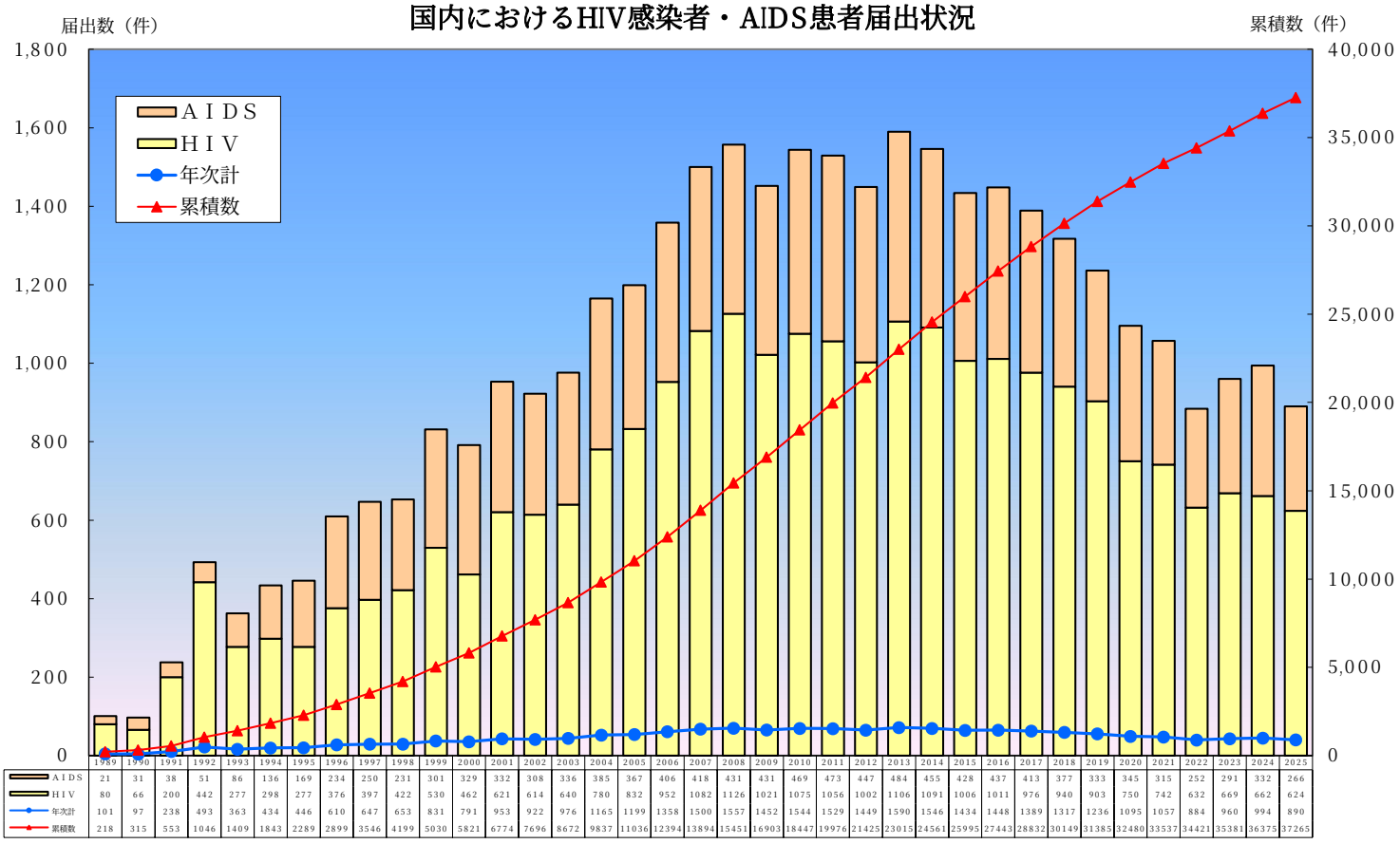
那覇市在住の方は那覇市保健所
ホームページから申込可能です。
詳細は以下URLをご確認ください

https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/1006351/1012146.html

↑スマートフォンをお持ちの方はこちらのQRコードからもアクセス可能です。↑

（１）国内におけるＨＩＶ感染者・エイズ患者届出状況

・2025年届出数は、HIV 624件、AIDS 332件（累計37,265件）



	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
AIDS	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	252	291	332	266
HIV	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1082	1126	1021	1075	1056	1002	1106	1091	1006	1011	976	940	903	750	742	632	669	662	624
年次計	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1165	1199	1358	1500	1557	1452	1544	1529	1449	1590	1546	1434	1448	1389	1317	1236	1095	1057	884	960	994	890
累積数	218	315	553	1046	1409	1843	2289	2899	3546	4199	5030	5821	6774	7696	8672	9837	11036	12394	13894	15451	16903	18447	19976	21425	23015	24561	25995	27443	28832	30149	31385	32480	33537	34421	35381	36375	37265

（２）県内における2025年の新規 ＨＩＶ感染者／エイズ患者報告数（上位10位の自治体）

a. ＨＩＶ感染者上位自治体

	自治体	報告数		自治体	人口10万人対
1	東京都	227	1	東京都	1.48
2	大阪府	63	2	大阪府	0.97
3	神奈川県	47	3	徳島県	0.58
4	愛知県	41	4	栃木県	0.58
5	北海道	36	5	愛知県	0.54
6	千葉県	29	6	神奈川県	0.53
7	福岡県	19	7	岐阜県	0.52
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
24	沖縄県	3	27	沖縄県	0.20

b. エイズ患者上位自治体

	自治体	報告数		自治体	人口10万人対
1	東京都	63	1	徳島県	0.58
2	神奈川県	21	2	沖縄県	0.55
3	福岡県	20	3	熊本県	0.47
4	愛知県	17	4	東京都	0.44
5	埼玉県	12	5	福岡県	0.39
5	千葉県	12	6	佐賀県	0.38
5	大阪府	12	7	長崎県	0.32
⋮	⋮	⋮	8	島根県	0.31
			9	広島県	0.29
8	沖縄県	8	10	大分県	0.28

2025年 人口10万人対の報告数

沖縄県は
・ＨＩＶ感染者
全国27位（ 0.20人 ）

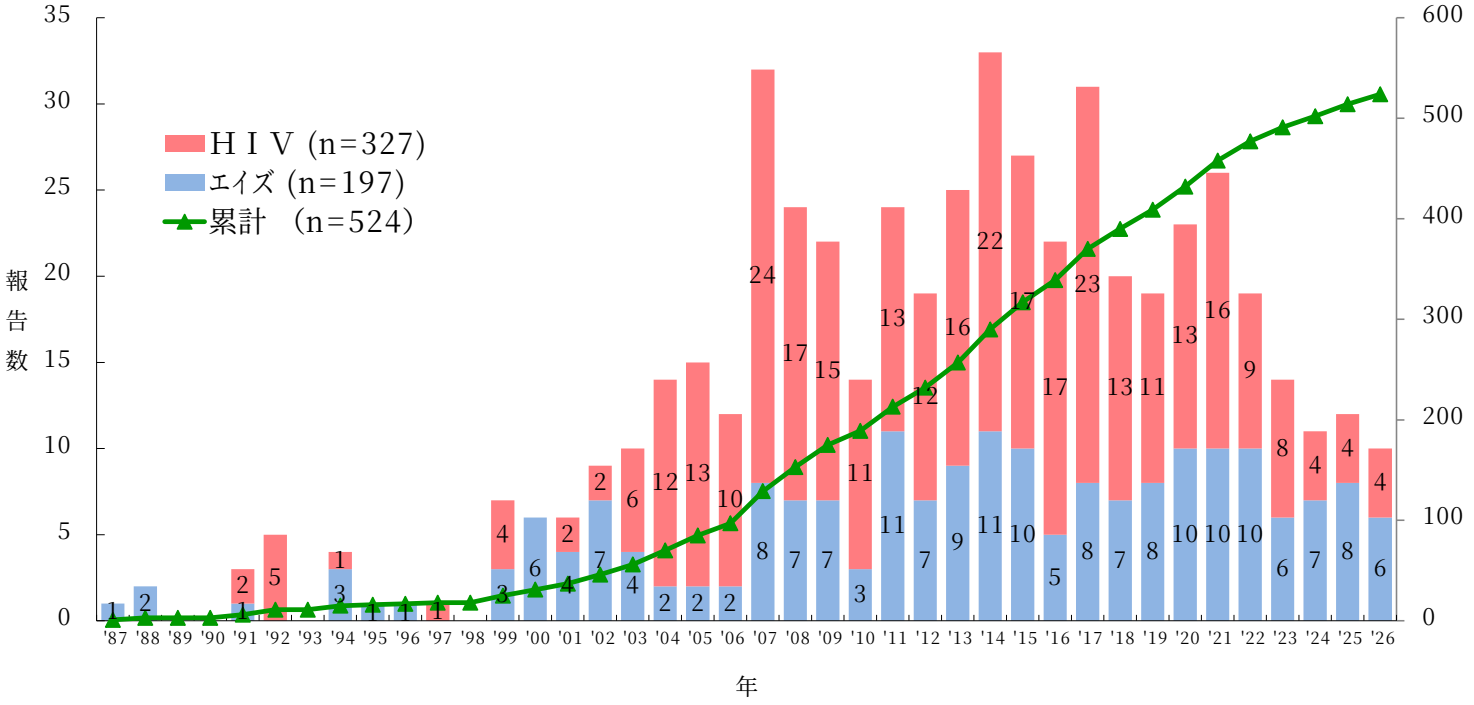
・エイズ患者
全国2位（ 0.55人 ）

沖縄県は平成18年度より重点的に連絡調整すべき都道府県等に選定されています

出典：令和７年（2025）エイズ発生動向（厚生労働省エイズ動向委員会）　一部改変　　http://api-net.jfap.or.jp/

（３）ＨＩＶ感染者／エイズ患者の年次推移

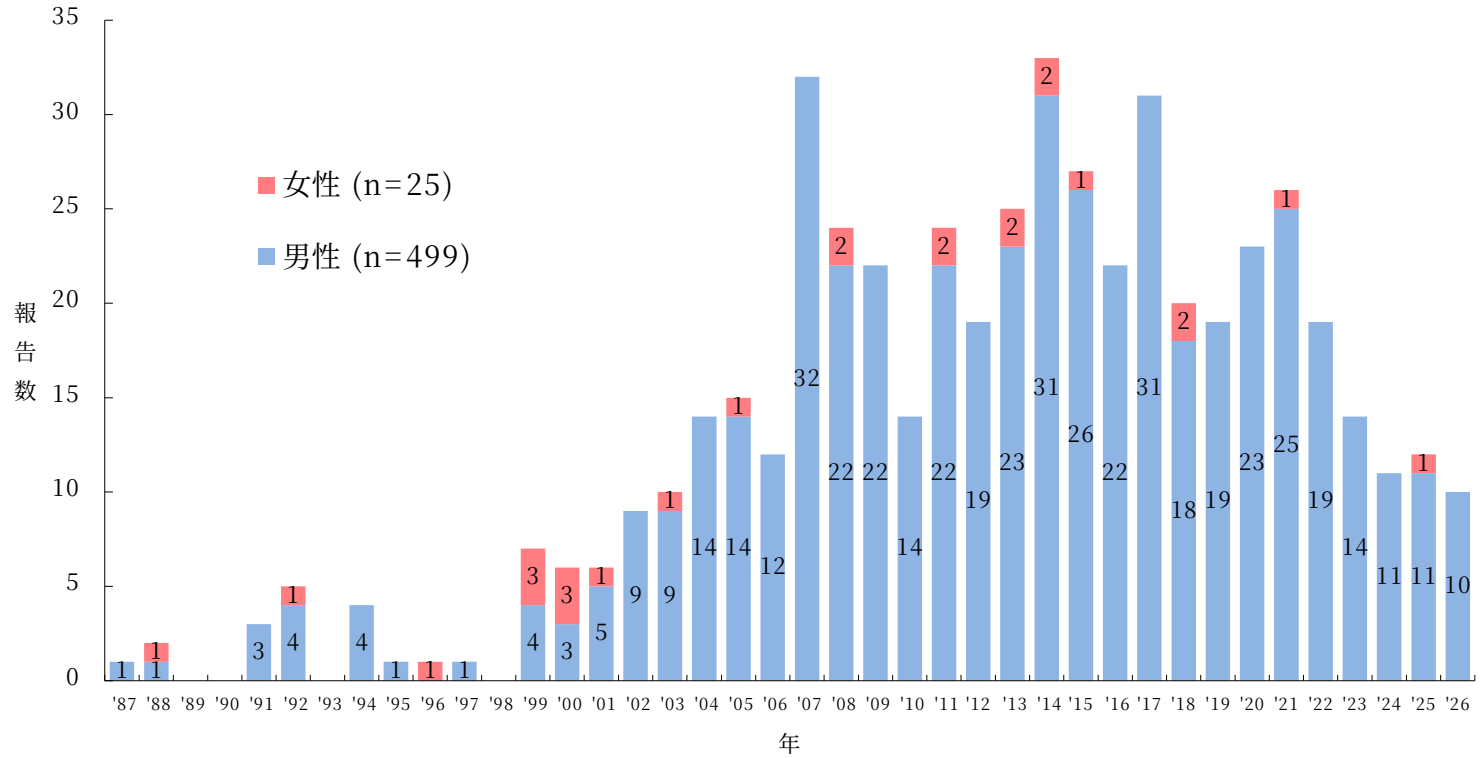
・２０２５年の報告数は、１２件（ＨＩＶ４件、エイズ８件)で診断時に既にエイズを発症している患者の割合は６６.７％で、全国平均の約３０％と比べて高い値を示している。
・２０２６年の報告数は、１１月１日時点で１０件（ＨＩＶ４件、エイズ６件）。
・累計報告数は５２４件で、２００７年以降は年間１１～３３件で推移している。



※以降、診断日に基づく集計（２０２６年１１月１日時点）

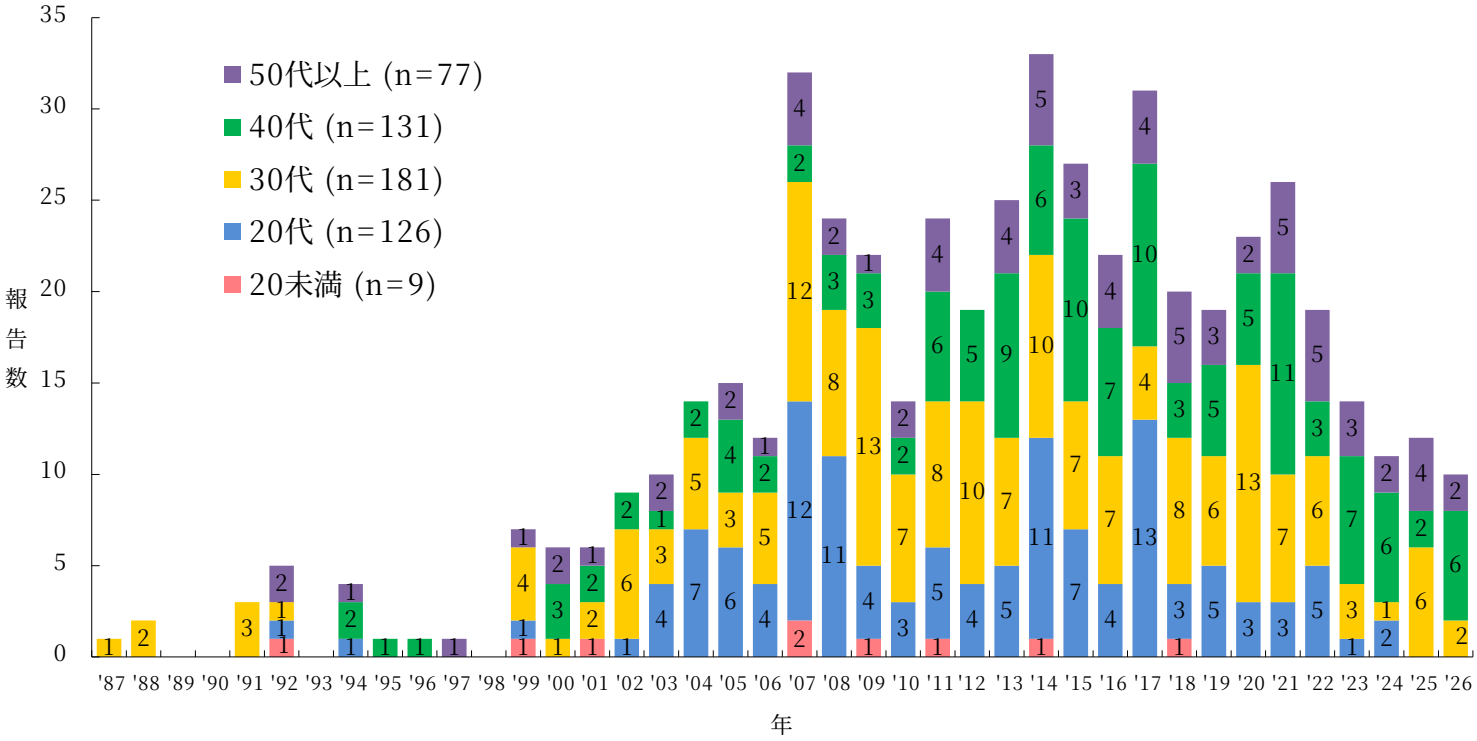
（４）男女別

・累計では男性が９５％を占めている（男性４９９件、女性２５件）



（５）年代別

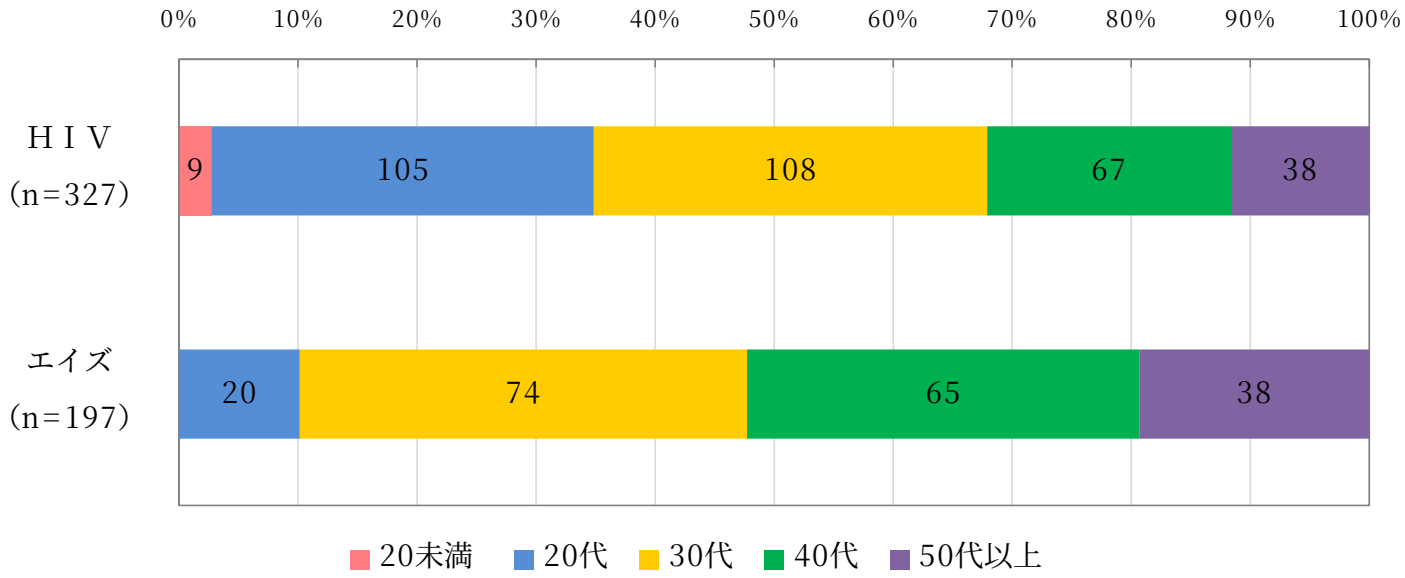
・多い順に30代が181件（35%）、40代が131件（25%）、20代が126件（24%）、50代以上が77件（14%）、20歳未満が9件（2%）で、20～50代に幅広く分布している。



（６）ＨＩＶ／エイズ年代別内訳

・ＨＩＶ感染者は、20～30代に集中し、全体の約68%を占める。

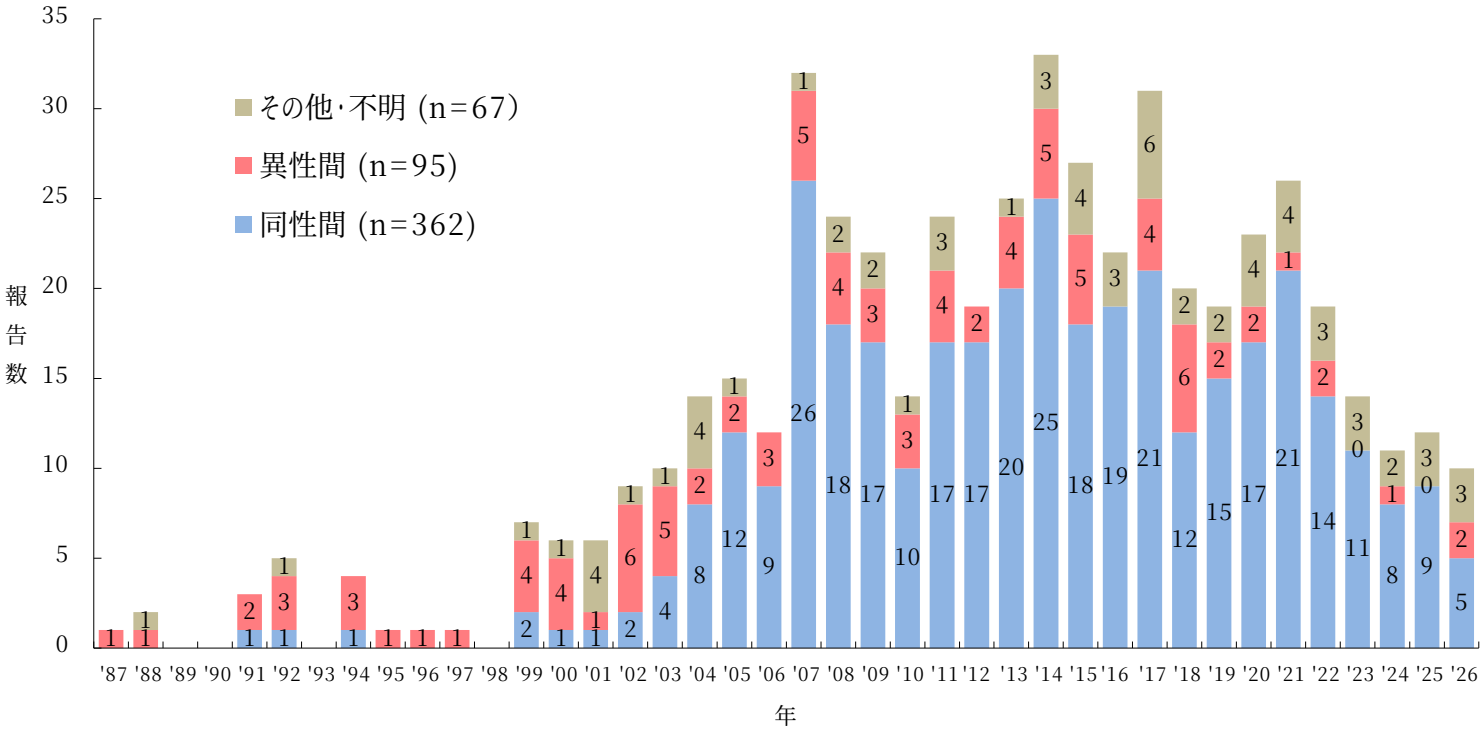
・エイズ患者は、ＨＩＶ感染者に比べて40代以上の割合が大きく、全体の約52%を占めている。



※2026年は11月1日時点の診断日をベースとした数値

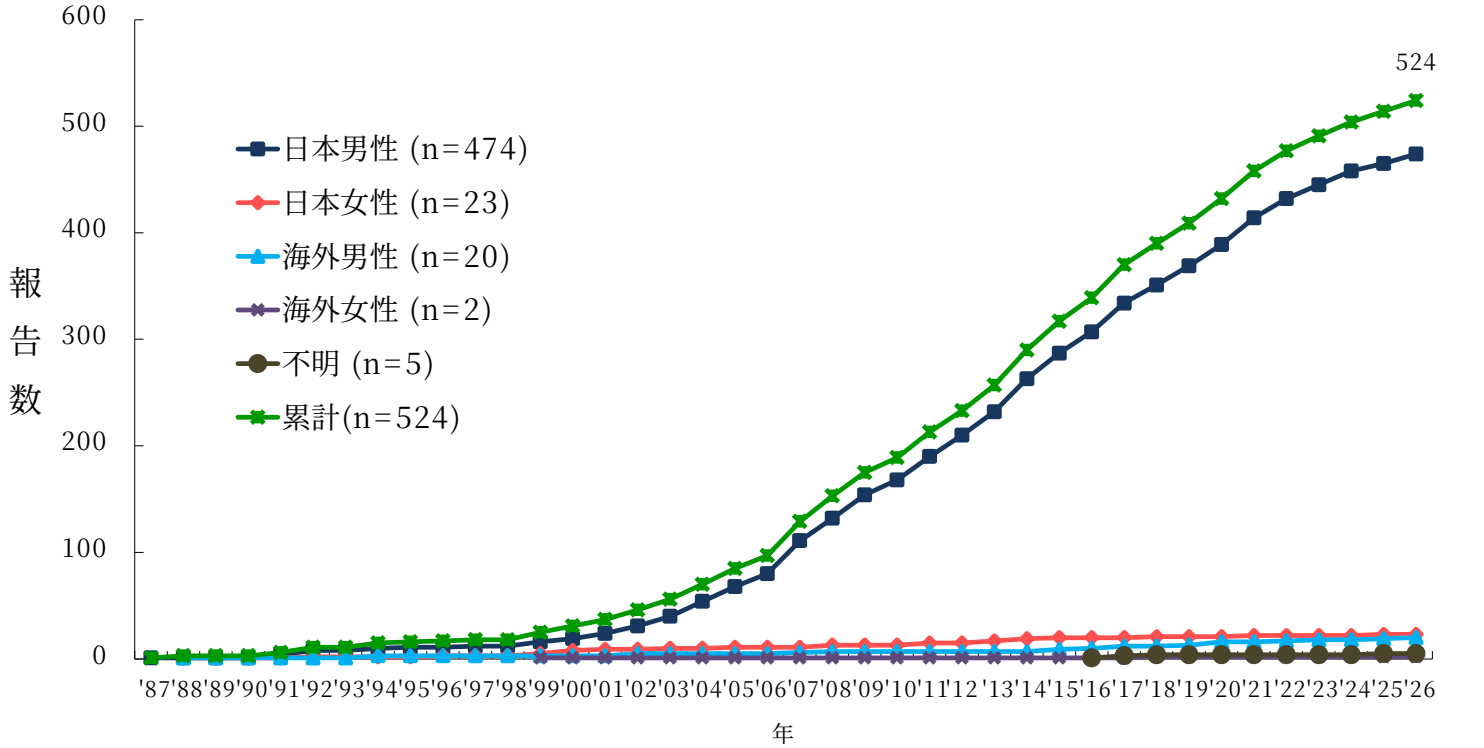
（７）感染経路別

・２００５年以降、男性の同性間による性的接触感染が約6～9割を占めている。
・異性間による性的接触感染も、ほぼ毎年数件確認されている。



（８）国籍別

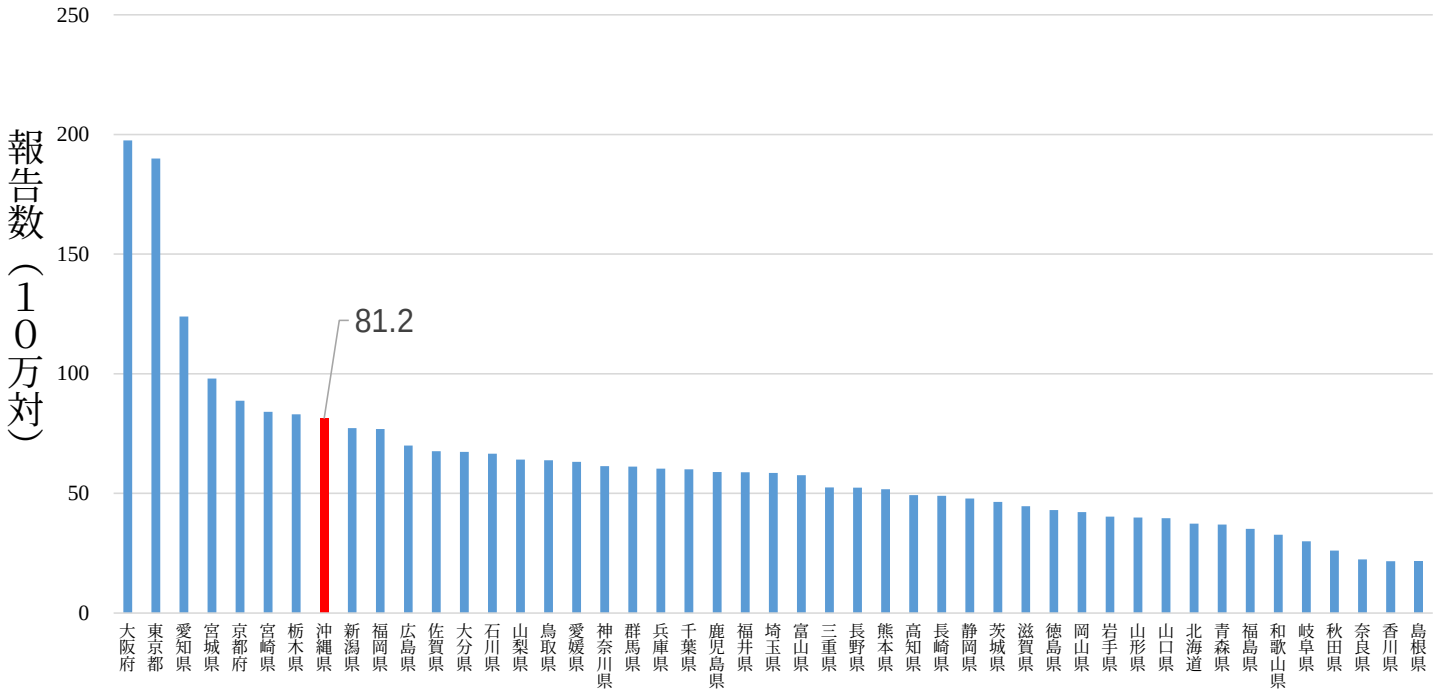
・累計では日本人男性が全体の９０.５％を占めています



※２０２６年１１月１日時点の診断日をベースとした数値

（９）都道府県別人口10万対 ＨＩＶ抗体検査件数（２０２５年）

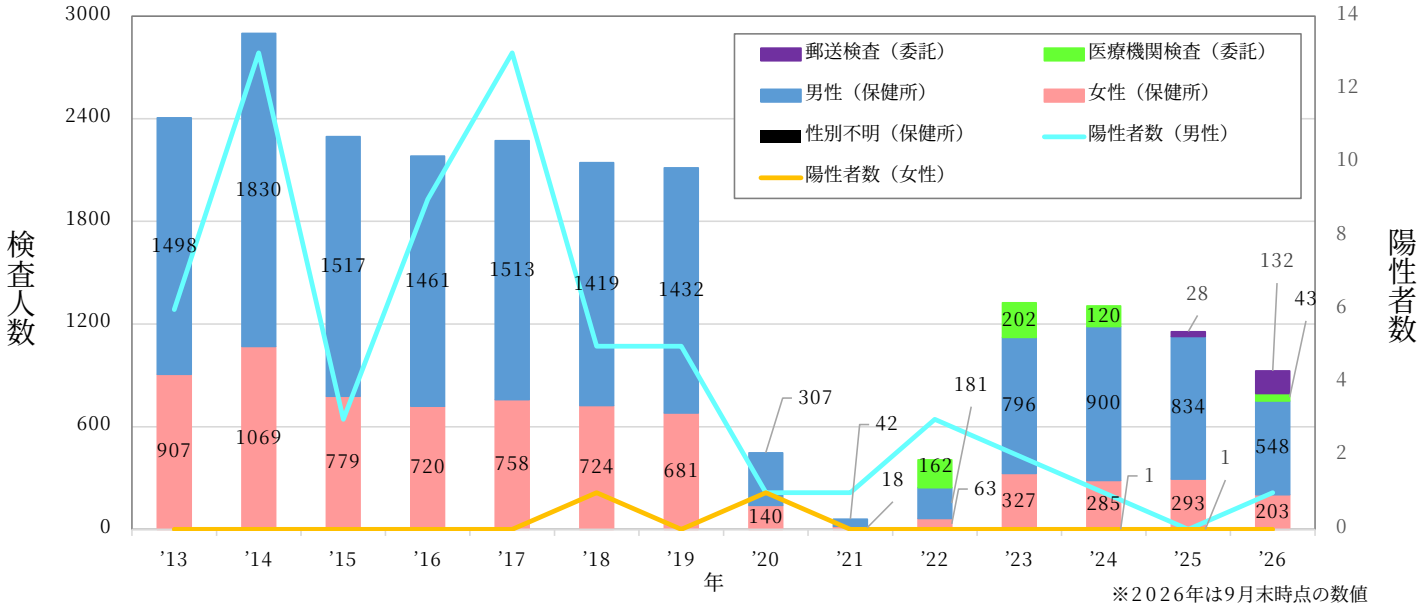
・沖縄県の保健所におけるＨＩＶ抗体検査数は1,191件となっており、人口10万人あたり 81.2人で全国8番目に位置している



※直営検査＋委託検査の合計数

（１０）保健所等におけるHIV抗体検査件数

・例年2,000～2,500件で推移し、２０２０～２０２２年は新型コロナウイルス感染症への業務対応のため、大幅に縮小。
・その後、業務委託による医療機関におけるワンコイン検査や郵送検査を導入。
・２０２６年は９月末時点で検査件数９２６件（保健所検査７５１件、委託検査１７５件)となっている。



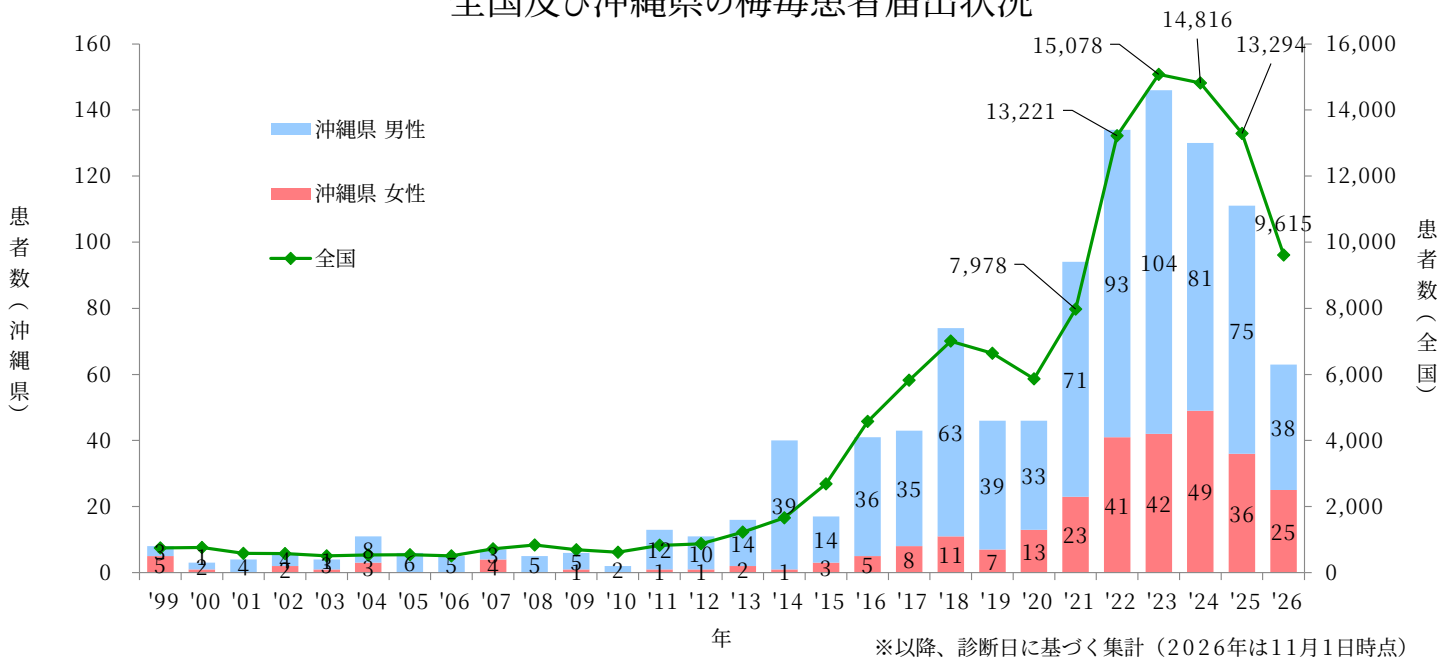
※２０２６年は9月末時点の数値

資料６

（１）梅毒の年次推移

・２０２１年以降、梅毒の報告数は全国的に増加傾向にある
・感染症法による届出対象となった１９９９年以降、全国及び沖縄県の報告数は２０２３年をピークとし、現在も多い状況が続いている。
・県内の２０２５年の報告数は、１１１件で男性７５件、女性３６件
２０２６年（１１月１日時点）の報告数は、６３件で男性３８件、女性２５件。

全国及び沖縄県の梅毒患者届出状況

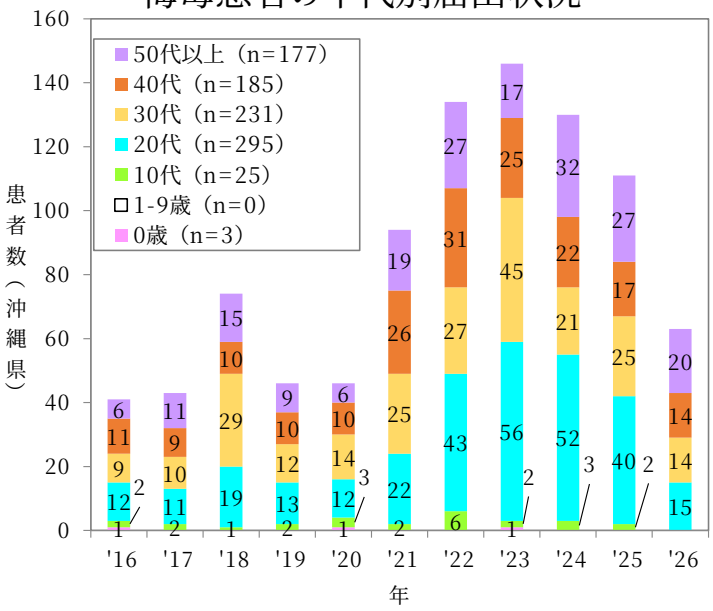


※以降、診断日に基づく集計（２０２６年は１１月１日時点）

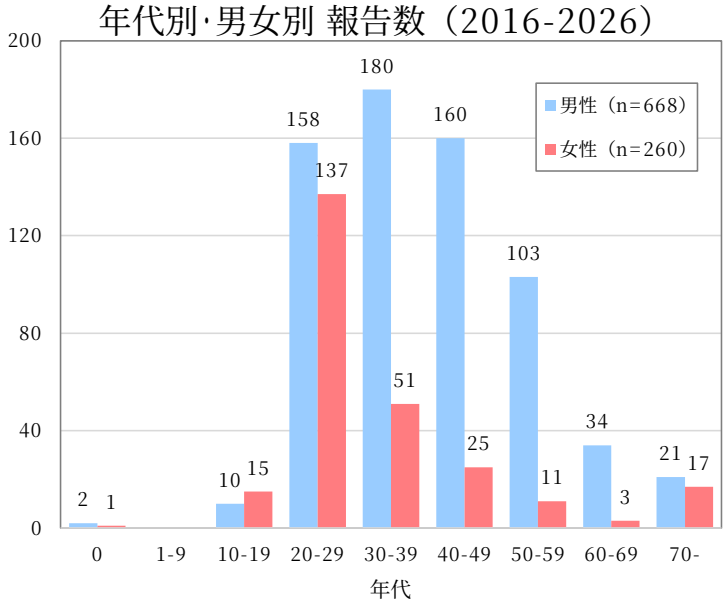
（２）梅毒の年代・男女別報告数

・２０～５０代以上に幅広く分布しています。
・男性は２０～４０代が、女性は２０代が多くを占めています。

梅毒患者の年代別届出状況



年代別･男女別 報告数（2016-2026）



※２０２６年１１月１日時点の診断日をベースとした数値

ＨＩＶ／エイズ（ＡＩＤＳ）について

- エイズは、「後天性免疫不全症候群」ともいい、ＨＩＶ（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによっておこる病気です。
- ＨＩＶに感染してから2～3週間すると、軽い風邪のような症状がでることがあります。この症状は数日～１０週間くらい続き、ほとんどの場合は自然に消えてしまいます。
- その後、数年～１０年間くらいは何も症状はありませんが、体の中でＨＩＶがひそかに広がっています。
- 何も治療をしないでいるとさらに進行し、微熱や下痢が続いたり、リンパ節が腫れたり、肺炎などを起こします。
- このような状態になると「エイズを発症した」「エイズになった」といいます。
- 感染経路

  ①性行為、②血液を介しての感染（注射器具の共用など）、
  ③母子感染の３つです。

- 検査と治療

  ・検査　保健所：無料、匿名で受検できます。
  郵送検査：５５０円（検査キット送料、梅毒検査含む）
  県内の一部医療機関：有料で受検できます。

  ・治療　陽性者には、県内の専門医療機関を紹介します。

  現在では、ＨＩＶに感染しても、早期診断・早期治療によりエイズ発症を防ぎ、健常者と同様の生活ができます。
  また、U＝U（Undetectable＝Untransmittable）といって、適切な治療により血液中のウイルス量を一定基準未満に抑え続けられていれば、他者へのＨＩＶ感染性も無くなります。

- 予防

  ＨＩＶ感染の８０％以上は性行為によるもので、コンドームを正しく使用することで予防できます。

梅毒について

- 梅毒トレポネーマという細菌に感染することによっておこる病気です。
- 感染してから３～６週間ほどで、菌が侵入した局所に、痛みがほとんどないしこりや潰瘍ができたり、リンパ節が腫れますが、治療をしなくても数週間でなくなります。
- その後、４～１０週間が経過すると、手のひらや足の裏を含む全身の皮膚や口腔内に発疹が出たり、脱毛、発熱や怠さなどの全身症状が出ます。これらも治療をしなくても数週間～数か月でなくなります。
- 上記の症状は再発することもありますが、それでも治療せずに数年～数十年が経過すると、体にコブ状のしこりが出来たり、心臓や血管系の症状が出る他、認知症、手足のケイレン、体の麻痺などへ進行する場合があります。
- 妊娠中の女性が感染していると、体内の赤ちゃんへ感染し、流産や死産、出生後の赤ちゃんに難聴や歯の発育異常などの障害が出る原因となります。
- 感染経路

  ①性行為、②血液を介しての感染（注射器具の共用など）
  ③母子感染の3つです。
- 検査と治療

  ・検査　保健所：無料、匿名で受検できます。
  郵送検査：５５０円（検査キット送料、HIV検査含む）
  県内の一部医療機関：有料で受検できます。

  ・治療　抗菌薬で治療ができます。
  ただし、完治後も再感染する場合があります。
- 予防

  梅毒への感染はほぼ性行為によるものです。コンドームの正しい使用は効果がありますが、完全な予防はできないため、不特定多数との性行為を避けることが重要です。